

## 令和 7 年度 第 1 回総合教育会議

令和 7 年 5 月 27 日

14 : 00 ~ 14 : 40

甲良町公民館会議室

### 1 出席者

寺本町長、中村総務課長、総務課担当職員  
青山教育長、藤委員、小島委員

### 2 次第

- ・教育大綱について
- ・甲良町の教育に係る予算及び主要施策について
- ・その他

### 3 議事概要

#### 【総務課長】

皆さんおそろいでございますので、令和 7 年第 1 回の総合教育会議を始めさせていただきます。

この本会議は、教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 4 に基づき、町長が設置をするというものでございます。本日は私、総務課中村が進行をいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

それと、本日でございますが、尾崎委員と新家委員については、欠席の旨、御報告させていただきたいと思えます。

では、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

まず初めに、甲良町長より御挨拶申し上げます。

#### 【町長】

皆さん、こんにちは。御参集いただきまして、誠にありがとうございます。この総合教育会議は私が招集するものとなっており、首長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、首長と教育委員会が協議を行う場でござい

ます。そのため、この会議は課題があったときのみならず、町の教育行政が円滑に進むように、我々町長の部局と教育委員会部局とが調整し、共通認識を持ち連携を強化していくための場でございます。

さて、令和7年度も始まって2か月ほどになります。今年度における各事業を進めていくところでございます。令和7年度においても、限られた財源を重点的かつ効率的に配分するように予算編成をしており、教育分野におきましても、乳児期・幼児期世帯の家庭環境の充実を図ることを目的とする子どもの学力向上支援、保護者支援事業や園児の安全確保、職員の事務負担軽減を目的としたICT設備の導入などを重点事業として、子どもたちの教育に係る事業を進めていくところであります。

本日は、現在の子どもたちの学びの環境がどのような状況であり、そしてどのような課題があり、どのような改善していったらいいのか、こういったことについて御意見を頂戴できればと考えております。議題は今年度の教育大綱が中心となっておりますが、忌憚のない活発な意見をお願いしまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

**【総務課長】**

ありがとうございます。

それでは、次第の2、教育大綱についてでございます。本大綱を作成するまたは変更する際には本会議にて協議するものとされておりますので、教育委員の皆様から御意見をいただくということとなっております。

それでは、令和7年度の教育大綱について、教育委員会教育長のほうから御説明をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

**【教育長】**

教育大綱についての説明をさせていただきます。教育大綱というのは甲良だけでなく、ほかの市町も全て教育大綱をつくっています。甲良町教育大綱というのは、第4次甲良町基本計画があり、これが令和3年から12年まで10年間、これにのっとって各施策を進めていくということになっております。教育に関する分野については、基本目標の2「みんなが学び合うせせらぎ甲良学」という、目標において、政策として4点、まず1つ目は乳幼児保育・教育。就学前の教育を頑張るということと、学校教育、社会教育・生涯学習、歴史文

化、この4つが挙げられています。これにのっとり教育大綱を定めていくことになります。また、地域社会のところには子育て支援・家庭支援というのも入っておりますので、そのあたりも充足させながら教育大綱を作成していきます。毎年大きく変わるものではないと私は思っていますので、そんなに大きく変えていません。ただ、文言的に少し付け加えをした点がありますので、そこを重点的に話させていただきたいと思います。

この大綱の実施期間について、私が教育長に就任したときに、この大綱についてはいろんな施策が変わる、または目標等が変わるときに変えようということで、特定の期間を定めなくて、社会の情勢等を踏まえた段階で、動向を見て適宜改正していこうというふうに変えております。甲良町がめざす教育については、これはもう全然変えていません。21世紀を生きる子どもたちが“知・徳・体”の調和のとれた心豊かでたくましい人間に育つよう、確かな学力と生きる力を育むことを目指します。1、いのちや人権を大切にする心の姿勢、2、基礎学力の定着、3、ICT教育の推進、仲間づくりが4番。5番が教職員の指導力向上ということで、ちょうど私が就任したときにICTがちょっと入ってきたときなので、この文言を入れましたけども、5点について力を入れようということで、甲良町の教育を推進しております。

次のページ、1の教育方針ですが、これは今の目指す教育に関しての、こういうふうな思いでやろうという5点を書いております。これについては各教職員についても、私から4月当初に話をさせてもらって、周知しているということとあります。次からは各学校、園、各分野に向けての目標ということで上げさせていただいています。まず、就学前教育の基本目標ということで、本町については、3年前に今まで保育所、幼稚園という分けていたんですが、一緒の統合された施設ですので、こども園という形を取りました。その中で、今いろいろと懸案となっているのは、園舎の老朽化、子どもの数も減っているということで改修、または統合したらどうかという話もしています。まだ本格的な話になっていませんけども、先生方や保護者にアンケートを取ったときには、過半数は統合してもいいのではないかと。ただ、する場合に場所を考えてほしいとか、色々と懸念される部分があります。今やっていることについては、まだまだ先ですので、今の園舎で両方の教育を進めていくことになりますので、当

然。まず先生方に、保育士さんをお願いしているのは、なかなか十分な保育士さんの数を確保できるということではありませんけども、ぎりぎりの状態でも頑張っていると思っています。うれしいことに、本町の保育士さんは辞める人が少なく、かなり長く勤めていただいている方が多くて、また、一旦辞めてもパートさんとかフルタイムさん、会計年度で来ていただくという方があって、慣れておられる方が多くて、また地域にもかなり入っておられることもありますので、大変ありがたいと思っています。周りの市町に聞くと、もう1年、2年で辞めるというようなことも聞いていますが、そういう先生方が少ないので、ありがたいと思っています。ただ、年齢がだんだん高くなってきますので、やっぱり辞められる方もおりますので、補充していくということは必要かなと思っています。

あと、ICTについて書いていますけども、今、園も学校も全部、校務支援システムが入っていますし、園もシステム、ICTを入れていくというふうな時代になっていますので、昨年度末でLAN整備は終わりました。今年度はタブレットを入れて、あとはどういうシステムを使うか。まだこれから業者を決めてということになっています。これがあると、色んな子どもたちの管理、出欠とか、ふだんの動きなんかも、いちいち要録という1枚の紙に手書きする必要がなくて、全部打ち込めますし、小学校と連携も取れると思いますので、情報共有ができることととなっています。

それから、町の中での就学前の教育の在り方についての検討ということで、今取り組んでいます子育て広場、ちょうど4歳から、4歳、5歳、小1のこの3か年の子どもたちの、教育と併せて親の支援。それを今進めようとしているんですけども、去年の7月から行いましたけども、なかなか参加者が少なく、私もたまに見に行くんですけども、楽しくやっているんです。来た人はすごく有効だということで来てくれるんだけど、なかなか参加する人が少なく、少し困っているというやけども、せっかく町として全額補助してやっているのに、なかなか参加してもらえないというのは、もう少し考えたいと思って。今度、こども園のほうに、今、事業委託者さんに行っていただいて、保護者に、こういうことを目的にやっていますよというのを直接しゃべってもらおうというふうに思っていますので、東こども園、西こども園と話をすることにな

っています。

それから、次に、学校教育の目標については、これについても I C T 教育のことは真ん中あたりに書いていますけども、来年度がタブレットの更新時期に入ってきますので、今、来年度の更新に向けて動いています。かなりタブレットを使った授業とかも進んでおり、若い先生は割に使いこなしているという状況も聞いていますけども、全てをタブレットでやるというのはなかなか難しく、やっぱりペーパーである教科書を使っただけの授業も併用してやるというふうになっております。

特に中学校なんですけど、大学との連携をずっとここ 10 年ほどしています。私がちょうど校長のときに始めたんですが、定期的に先生に来ていただいて、子どもの様子を見ていただいて、話をしてもらおう。子どもにじかに話をしてもらおう、また先生方の研修の場で話をしてもらおうということでやっております。もう 10 年ぐらいたちますので、もうあと 2 年ほどで切りをつけていこうかなと。また違う形で大学との連携ができるかなと思うんですけども、特に佛教大学さんには、中学 3 年生の子が校外学習の一環として、進路学習の一環として行っています。今年も 7 月に行くんですけども、大学を見るということが、うちの甲良町の子どもにとってすごく目新しいというか、ないことなので、みんながやっぱり楽しみと言っていますし、またこの御時世ですので、大学に進学する子も増えていくのは間違いなくて、甲良町の子たちもかなり増えているし、佛教大学へ進む子がここ数年います。昔は、授業を始める前はほとんどもうゼロに近かったんですが、この事業を始めてから、佛教大学に入学して、卒業して、先生になる子が何人か出てきています。現在、甲良町がお願いしています先生のゼミに、甲良町の子が昨年度 1 人いまして、その子が先生の話で中学校で聞いて、教師になろうと思ったということで、やはり佛教大に行ったんですけども、ちょうど今年、この 4 月に新規採用で採用されて、今教員として頑張っているというふうな子も今、1 人います。ほかにもこういう子が今現在、3 年生にもおります。そういう子たちの話もじかに大学へ行って聞けますので、中学 3 年生にとっては先輩からの話ということで、すごく身近に考えていると思いますけども、その事業については今後どうするのか、形を変えるか、これは今後の検討です。それから、不登校の子どもが最近増えていますので、や

はり教育相談を大事にしていくということで、SSWやSC、スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーが県から派遣されていますので、今、スクールソーシャルワーカーが東小と中学校で、スクールカウンセラーが西小についております。それから、図書館の充実ということで、学校内にある図書館がきちっと整備されて、子どもたちがいつでも使えるような状況になっていない状況があり、先生方が苦勞して図書館の運営とかをしていたんですけども、やっぱり1人司書が欲しいということで、3校兼用で1人、今年度来てもらいました。すごく動いてくれていると思うんです。特に今年は小学校を中心に、東小を拠点に、西小と東小を運営してもらっています。

#### 【教育委員】

児童への声かけもすごくて、子どももなついて、本当にすばらしい。ありがたいです。

#### 【教育長】

ありがたいなと思って。その来ていただいている方は市立図書館の経験がある人で、すごい慣れておられますので、子どもとじかに接したいということで来られました。

それから次、社会教育の基本目標ということで、今年は国スポ・障スポがありますので、これについて、特に住民さんに機運を高めるということで、いろんなチラシ等も配布させていただいたりしていますし、また本町の担当しているのは、ボーリングという競技を犬上郡3町でやるんですけども、本町での競技はありませんけども、そういう形で協力させていただいています。あと、1人、障スポのほうで、本町の職員として図書館に勤めていただいています方が、障害者枠の卓球、テーブルテニスのほうに出場していただきます。実際近くにこういう方がいると、やっぱりちょっと子どもたちも意識しやすいかなというふうに思っています。

それから、最後になります。文化振興の基本目標ということで、本町については伝統文化がありますし、いろんな施設等もあるんですが、子どもたちにどれだけ甲良町のよさを発信するかというところで、今、言いました図書館のほうには司書等いて、いろんな体制で図書館の運営をさせていただいています。学校のほうにも図書館の方が行って、今までやっていただいたんですが、今度、

今言いました学校図書館司書を配置しましたので、協力してもらって、子どもたちの読書指導、図書指導のほうをやっていただくというふうになっていますし、最後に書いています、甲良町三大偉人の観光文化を活用してということで、実は中学校のほうで、社会の授業の一環で三大偉人の学習を取り入れています。うちの社会教育課の職員がそういう専門で、大学もこういう歴史の学部を卒業したということで、特に藤堂高虎についてかなりの知識を持っているそうで、藤堂高虎を中心に、中学校の社会の授業で出前授業ということを3年か4年前からやっていただいているということです。少しでも子どもたちに、中学生にも本町の偉人についての学習をしていただきたいなというふうに思っています。

教育大綱について具体的な話をしましたけども、こういう方針にのっとって甲良町の教育を進めていきたいというふうに思っています。

【総務課長】

ありがとうございます。

教育長から説明がありましたが、委員の皆様から何か御意見等ありましたら、意見を聞かせてもらいたいと思います。よろしくお願いします。

(教育大綱について意見なし)

【総務課長】

それでは、まずは教育大綱については原案どおりということで、改定させていただきますたく思います。また後からでもよろしいので、また何か御意見等ありましたら、また教育委員会、総務課に御意見をいただければと思います。申し訳ございません。時間の都合上、次に進めさせていただきます。

次第の3でございます。甲良町の教育に係る予算及び主要施策についてということで、町長から概略を説明させてもらいたいと思います。よろしくお願いします。

【町長】

私から冒頭の挨拶でも少し触れましたが、令和7年度当初予算及び主要施策の概要から、本町の今年度の予算規模や教育に係る予算重点施策についてお話

しをしておきたいと考えています。

お手元に令和7年度当初予算及び主要施策の概要を配付しておりますので、御覧ください。

まずは当初予算会計別総括表でございます。令和7年度の予算規模、一般会計と2つの企業会計を含む6つの特別会計を合わせた総額、歳出総額は歳出ベースで73億、一番下ですね。73億5,471万9,000円となり、令和6年度の当初予算の総額71億746万8,000円に比べ2億4,725万1,000円、3.5%の増となっております。

教育費が含まれます一般会計全体では、令和7年度当初予算は総額43億4,332万9,000円となっており、昨年に比べ1億6,062万5,000円、3.8%の増となっております。

次の13ページでは歳出の主な増減理由として、教育費に係る部分を記載しております。13ページです。教育総額としては5億1,374万4,000円となっており、昨年に比べ1,537万1,000円減少しており、2.9%の減となっております。主な減少理由としましては、施設の改修費用の減に伴うものです。

続きまして、35ページから令和7年度各課運営方針として、教育総務課に係る記載、36ページには学校教育課、37ページには社会教育課の運営方針を掲げております。令和7年度は課の基本方針及び課の重点施策をもって事業を執行することとしておりますので、御確認をお願いいたします。

続きまして、38ページから各課の令和7年度新規や重点事業について概要をまとめたものであります。8項目で子ども学力向上支援、保護者支援事業851万3,000円、不登校合児童・生徒支援事業210万3,000円、甲良町中学校通級指導教室設置事業3万9,000円、町民人権問題学習講座実施事業19万5,000円。そして、先ほど教育長が言われてましたICT設備導入事業が231万1,000円、中学校留守番電話設置工事71万5,000円、シニアの学び舎17万1,000円、ブックスタート、ブックスタートフォロー、3歳へのプレゼント事業が18万1,000円でありまして、個別の事業計画につきましては、66ページからとなっております。

以上、今年度の町の予算状況、教育に係る費用、重点事業を述べたところで



すが、いずれにしても、町長と教育委員が連携して効果的な行政を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【総務課長】

ありがとうございます。今ほど町長から令和7年度当初予算及び主要施策の概要の中身について、教育委員会の関係するところについて御説明をいただいたところでございます。この点、何か御意見等ありましたら、またお受けしたいと思います。よろしくお願いします。

【町長】

しっかりと取り上げているつもりなんですけど、また何か御意見等あればお伺いさせていただけたらと思います。

【教育長】

予算のほうをかなり取っていただいていますけれども、今この資料の中で、67ページの不登校支援員についてですが、これは県の補助をもらってやっている事業なんです。中学校1人と西小学校に1人配置する予定だったのですが、中学校の1人がもらえなかったんですよ。補助が。そのため、今、西の1人しかこの不登校支援員を配置できてないので、当初のこの2人というのが今1人になっています。

あとは39ページの中で補足すると、29番の通級指導教室の設置事業、これも私が教育長になったときに、一昨年から要求を出してたんです、県に。昨年の2月にオーケーが出て、今年度、令和7年から設置しているんですが、どうしてもやっぱり特別支援学級に入っている、入級している子どもたちまでいかない、通常学級にいてる子で支援が必要な子がたくさんいるんですよ。この愛犬管内で小学校の通級教室は各町、当町以外の各町1個ずつできているんです。愛荘は愛知川東小と秦荘東にできてるんですよ。多賀は大滝小にできていて、甲良は甲良東小にできていると。これはもう前かなり前からあるんですけども、この子たちが次、中学校行ったときに、中学校の通級指導教室がなかったんです。やっと、少し前に豊郷が豊日中学校に通級指導教室、手を挙げてつくりはったんです。ところが、各小学校から中学校へ行く子は、それだけの1校で間に合うような数じゃないんですよ。うちとしては甲良東に通級があって、せっかく通級で多少なりとも支援を受けて、ちょっとでも改善している子が、

中学校行ったら何もないという状況はよくないので、甲良中学校ならそういう施設、部屋もあるし、先生も今、特別支援の免許を持った先生がいるし、ちょうど条件整っているんで、施設を新たに造るとかそういう必要がなかったんで、手を挙げていたんですよ。今言われましたように、やっと今年度からつけてもらって、今、通級のほうをスタートしている状況で、一応、甲良中学校の通級は、基本的には多賀中の子、秦荘中学の子、甲良中というこの3つの学校の子たちを受け入れようということにしています。豊日中学校のほうには、豊郷豊日中学校の子と愛知中の子を受け入れるという形で、ただ、親の了解が必要なので、親が甲良は行けんけど、豊日なら送り迎えできるわという人があったら、そっちへ行かれるかなと思うんですけども、今のところ、うちに11人来ます。豊日のほうは16名来るというふうになっています。一応、枠としては13名枠なんやけども、ちょっと豊日は多いんやけど、ちょっと分けしたらこういうふうな人数、アンバランスになっているけども、一応11名でスタートするというふうになっております。

それから、32番ですが、中学校の留守番電話の設置工事なんですけども、実は前の年に留守電を小学校に入れたんです。そしたら先生方の帰りが統計上早くなったと。これは電話を入れたからじゃないかもしれんけども、でも、電話入れたあと小学校は全然早いので、中学校、やっぱり入れようと。僕は中学校畑なので、留守電は中学校へなじまないのかなとずっと思ってたんですよ。僕は中学校に入れる気はなかったんですが、学校長、教頭の話を見ると、最近若い先生が多いし、やっぱり働き方というのを考えてはるので、留守電入れてもらったほうが、帰るというタイミングになってくるので、入れてほしいなとなって、工事、今年度取り入れます。小学校はかなり有効やったという話をしています。

#### 【教育委員】

今、留守電の時間が5時半になりました。だからって困りますという意見は来てないです。

#### 【教育長】

それで、中学校もつけるということです。

### 【町長】

クラブ活動の件ですが、例えば野球とかバスケとか、サッカーとか。ついて、野球は多賀とか、豊郷はサッカーとか、甲良がほかの何かするとか、こういうことは考えていないの。

### 【教育長】

いやいや、私も犬上郡で地域移行しようと。地域移行というか、こういう地域の人をお願いする。基本的には部活したい先生がいるので、やってもらっていいのやけども、ただ、うちも今、現状、野球部、バスケット、女子バレーは合同チームをつくっている状況で、これやったら犬上でまとめれんかなというふうに思っていたんです。ところが、私も原案立てて、2町の、多賀町と豊郷の教育長には提案はしているのやけども、なかなかゴーサインが出ないんですよ

というのは、豊郷は総合スポーツのクラブに請負していて、もう始まっている競技があって、その中で、サッカーをやってくれてる地域の指導者が、サッカーは多賀も甲良もないので、もしサッカーしたい子があったらうちで受入れしますよとは言ってくれんねんけども、なかなか、そこまで進む段階じゃないので。私が思っているのは、各学校3校で種目の拠点校を決めて、例えばバレーなら甲良、バスケットなら多賀、例えば今言うてるサッカーなら豊郷というように、拠点をいろいろ決めていくと、うちにはなかったけども、ほかの2つにある競技で子どもたちが楽しむということもできるやろうし、そういうことで、犬上郡3町で協議会をつくって、その部活の、中学校部活動の運営協議会をつくって進めたいという思いは持っているんです。そこがなかなか、多賀も地域の人がテニスを今やっているんですよ。

教育長さんには去年一遍寄ってもらって、私の考えていることを話したんです。協議会を立ち上げるのもええかなという話にはなっているんやけども、一応教育長3人でちょっと固めようというのは、今年度やろうとしています。

### 【教育委員】

よその学校の子と触れ合うとか、よその学校はこうやという、よそを知る。甲良しか知らん子が、高校に行って初めて、よそは違うんや、と甲良の子はよう聞く。高校に行って初めてよそと混ざるようになって、中学校の段階で

ほかの子らと触れ合ってお友達ができたりして世界が広がるから、何か子どもが少ないからチームが組めへんからって、マイナス要素ばかり思っていると、だからこそこういうことができるというふうに解釈すれば、すごいすてきなことやなと思います。

【教育長】

中学校の体育連盟という組織があるんやけども、例えばうちがサッカーがないというのは、中体連に登録してないし、だから、甲良中学校にはサッカー部がないという認識。もしサッカーしたい子がいてて、豊郷のサッカーのほうに入っていくとなれば、甲良中学校にサッカー部をつくらないといけない。その子が豊日へ行っていますよという、こういう状況をつくらないといけないので、部活数は増えるかも。ただ、顧問は誰か1人いる。実際は豊郷へ行って練習するという形になってくるんやけども。

中体連というのは今、滋賀県中体連があって、近畿中体連があって、全国中体連があって、それぞれ考え方が違う。例えばもう全国大会しませんという競技が出てきているし、なかなか難しくて。

【教育委員】

後援会についてはどうですか。合同になった場合は。

【教育長】

運営の仕方が違うので、そこも合わさなあかんで、なかなか難しい。

【教育委員】

先ほどの67ページで、不登校の生徒の予算が、東のほうは誰もいないんですか。

【教育長】

学校へ来づらい子はいます。学校に来た場合には、この不登校支援員というのはいないけども、別途、支援員さんがいるので、特別教育支援員とか、町が別に雇ってる人がいるので、そこで見てもらっています。

【教育委員】

でもこれ、1人、今、配置になっているんですね。西小だけですか。中学校はいない。

【教育長】

いないです。中学校は、だから県の補助がなかったのです。

【教育委員】

大事な問題やで、どんどん増えている、不登校の生徒が全国的にも。

【教育長】

今はフリースクール行ってる子がいないですが、フリースクールに行く場合、幾らか補助していく。

【総務課長】

フリースクールについては、6月のこの議会で議決いただければ、補助制度を新しく設けるということになっております。

【教育委員】

よろしくお願いします。

【教育長】

かなり支援センターがパンク状態になっていて。

【教育委員】

大変やろうね。支援センターも。

【総務課長】

すいません、まだまだ議論を深めていただきたいところではございますが、ちょっと時間の都合もございますので、一応ここでということでお願いをしたいと思います。

4のその他ということで、何か委員さんのほうから御意見等、ほか含めてありましたら、よろしいでしょうか。

それでは、申し訳ございません。一応閉会ということで、総括といたしまして、最後となりますが、教育長のほうから御挨拶をいただきたいと思います。教育長、お願いします。

【教育長】

今日はありがとうございました。教育に関してはかなり町のほうもバックアップしていただいて、たくさんの予算をつけていただいています。それなりの成果も上げていかなあかんけど、なかなか成果が上がってこないとか、教育というのはなかなか成果が目に見えて、どんどんどんどんいくものじゃ

ないので、やっぱり10年、20年先を見た施策ができればいいなというふうに私たち、思っているんですけども、昨今子どもたちの数も少なくなってきた、今も言いました部活、中学で部活の問題も出てきますし、小学校のほうについても、各1クラスの人数が、もう30を切るような状況があって、1クラス、単学級での運営となっていますし、そこら辺については小学校のほうは、縦割り集団、活動を重視してもらおうて、異年齢学習というか、異年齢学級してもらいたいなと思っていますし、いろんなところでまたお耳にすることあると思いますけども、またお聞かせ願って、よりよい甲良の教育ができますように、よろしくお願いします。また町長、よろしくお願いします。ありがとうございます。

【総務課長】

教育長、ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の総合教育会議を閉じさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。お疲れさまでした。